

現地レポート／渡邊 謙 (高エネルギー加速器科学研究科 加速器科学専攻)

派遣先: ハンブルグ、ドイツ

海外派遣先機関名: DESY 研究所

派遣期間: 2006 年 7 月 26 日～2006 年 8 月 25 日

2006 年 8 月 28 日報告分 授業・研究の進捗状況

授業・研究の進捗状況

(授業の登録の有無/無。有の場合: 単位)

DESY 研究所にある TTF (TESLA Test Facility) にてビーム実験を行った。実験期間は 7 月 27 日～8 月 10 日であった。

実験内容: ビーム通過時に加速空洞内に励振されるダイポールモード (TE111) を用いて、ビーム位置とダイポールモードの信号との相関関係を調査し、それを元に空洞のアライメントを行うことである。

実験方法: クライオモジュール (加速管) の上流にあるマグネットを用いて加速空洞内を通過するビーム位置を変化させ、そのときのビーム位置とダイポールモードの信号を測定した。

実験は無事終了し、現在データ解析を行っている。



- ベルリン市内にあるシャルロット宮殿 -



- リューベックの町並み -

生活関連状況

宿泊先は DESY 研究所近くにあるペンション (一日あたり 40 ユーロ) である。DESY 研究所はこの時期にサマースクールがあったため、DESY 内にあるゲストハウスの予約が困難であった (6 月中旬にコンタクトを取ったが遅かった)。この時期にゲストハウスを確保するためには、早めの行動が必要である。DESY 近辺 (ハンブルグ市内) の公共交通機関は非常に良く充実している。バスに関して言うと、朝 4 時～深夜まで 10 分間隔で来るため非常に便利である。生活用品の購入は DESY 内に KEK のような売店が無いいため研究所の外にでる必要がある。研究所のメインゲートを出て約 200m のところに 8:00～20:00 まで開いているスーパーがあるのでそこを良く利用した。物価は全体的に日本より高かった。実験終了後、休日を利用してドイツ国内のいくつかの都市 (ベルリン、ケルンなど) を回った。